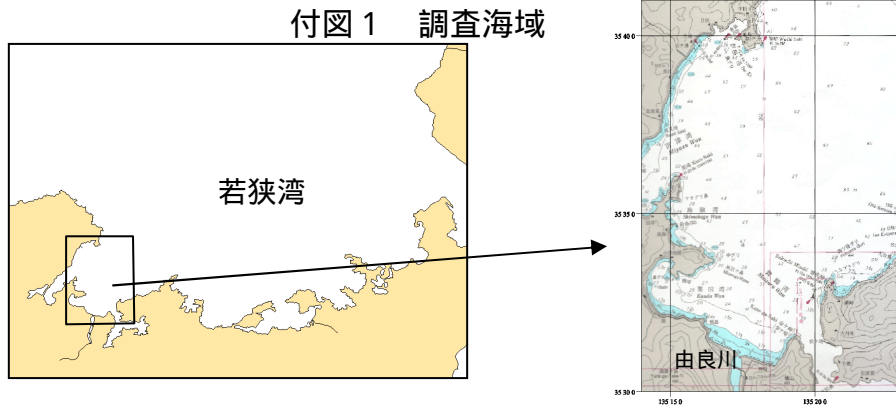


由良川河口域流況調査

平成 16 年 6 月 9 日に由良川（京都府）河口域（付図 1）で流況調査を実施しましたのでその結果を報告します。



1 漂流ブイ調査

図 1 に漂流ブイの航跡、表 1 にアメダス（気象庁所管）<http://www.data.kishou.go.jp> の宮津の風データ、図 2 で由良川の水位データ（国土交通省所管）<http://www1.river.go.jp> 図 3 に舞鶴験潮所（海上保安庁所管）の潮位データを示しています。

図 1 と表 1 を照らし合わせると漂流ブイは投入してから北東への移動（12 時 40 分～13 時 30 分頃の間）は河川水の影響で、その後は風の影響が出始め南東（13 時 30 分～14 時 30 分頃の間）また南西（14 時 30 分～14 時 50 分頃の間）に向かったものと思われます。

この海域は図 2 及び図 3 から潮汐の影響を受けていることがわかります。（水位カーブと潮位カーブが類似している）また、今回の調査時間帯は上げ潮時であったため沖への流れが弱かったと推測されます。

調査の結果、沖への流れは最大 0.99kn（0.51m/s）平均 0.5 kn（0.25 m/s）でした。

図 1 漂流ブイ航跡図

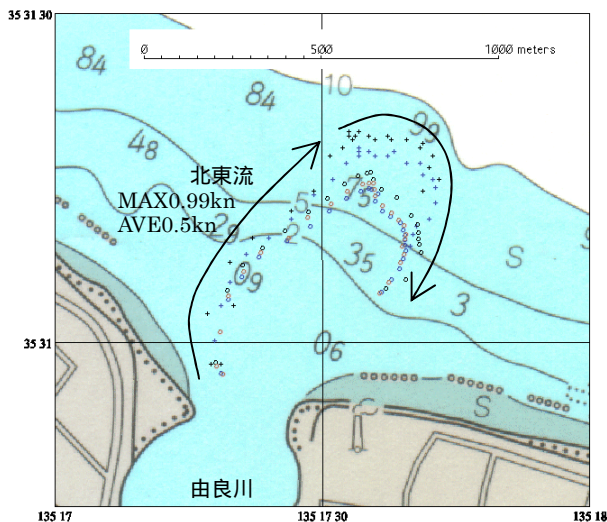
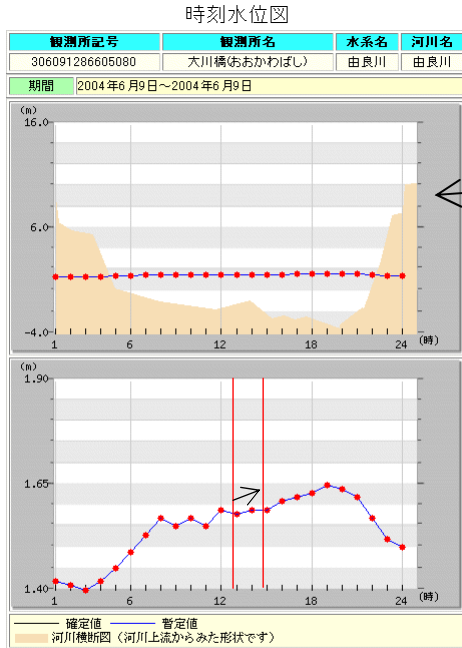


表 1 風向風速（アメダス）

12時	東南東	3m/s
13時	東北東	3m/s
14時	北東	2m/s
15時	北東	4m/s

図2 水位データ (大川橋)



既往最高水位はDB登録データから検索されたもので、観測開始以来の最高水位と異なる場合があります。
河川横断面は、当該観測地点の最新のものであり、抽出期間と連動したものではありません。

Water Information System By MLIT 2002

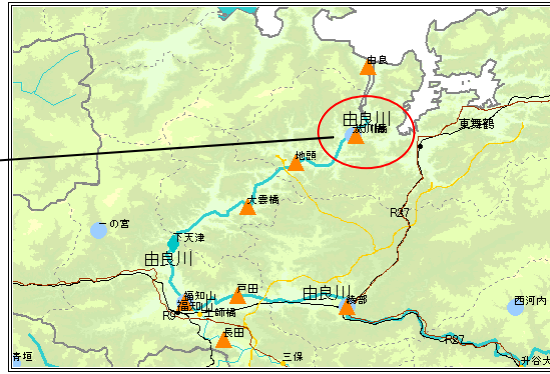
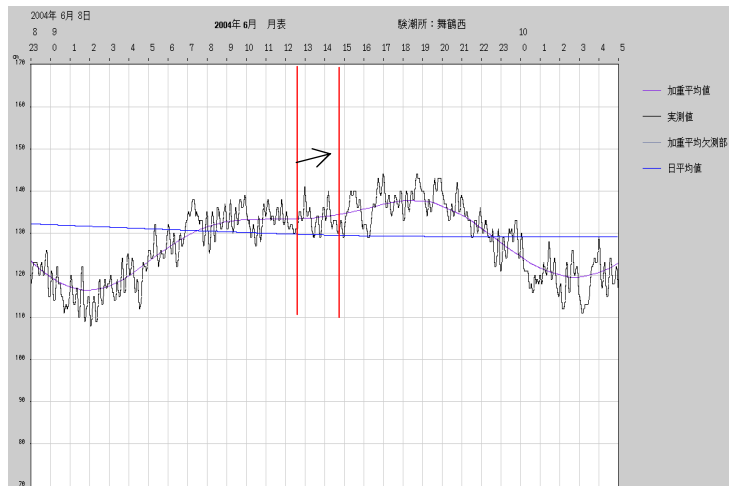


図3 舞鶴験潮データ



由良川河口域



ブイ漂流風景



漂流ブイ投入位置

2 水温・塩分調査

水温・塩分の鉛直断面図（図4・図5）から、成層していることがわかります。（水温21.5、塩分32.5あたり）

広がりについては塩分の表面平面分布図（図6）で河川水は河口域から北東に向かっています。

調査の結果、今回は表層から水深2m層で河口域から測点5あたりまで河川水の影響があることがわかりました。

また、調査当日槇山（調査海域東側）から海域を撮影した画像（写真1）からは扇状に広がっているのがわかります。

図4 水温鉛直断面図

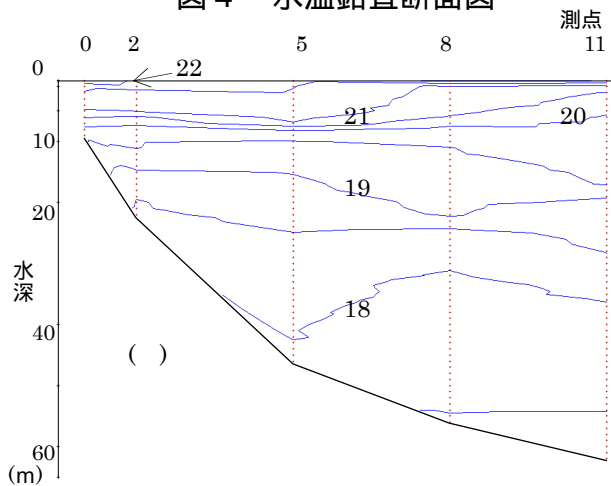


図5 塩分鉛直断面図

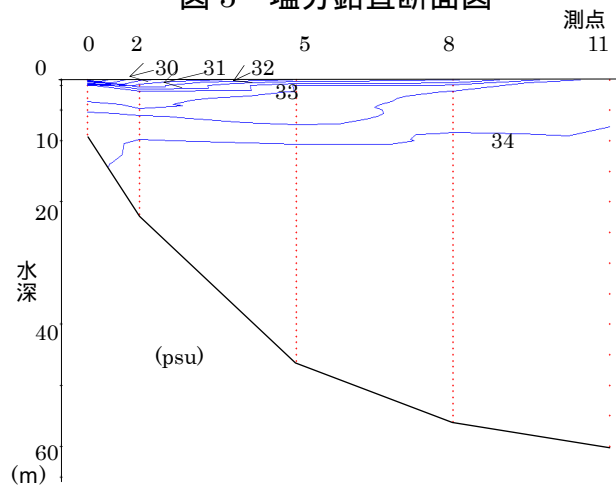


図6 表層塩分平面分布図

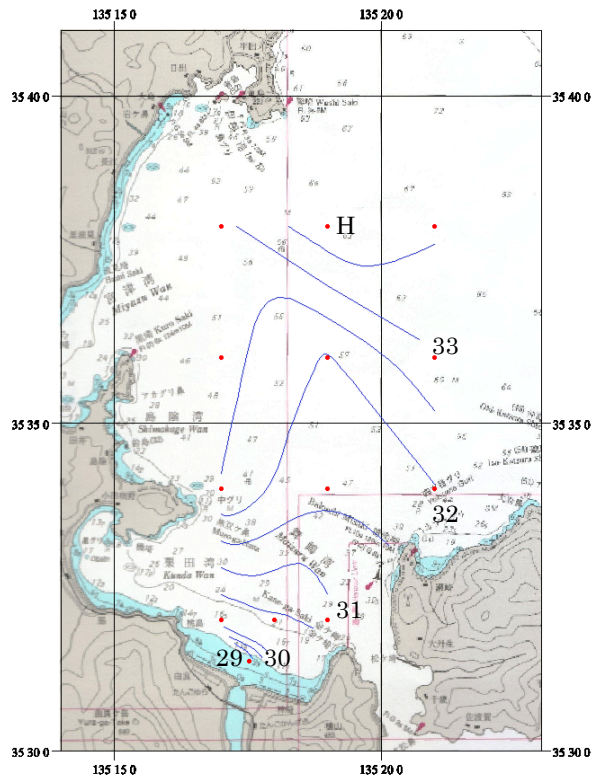
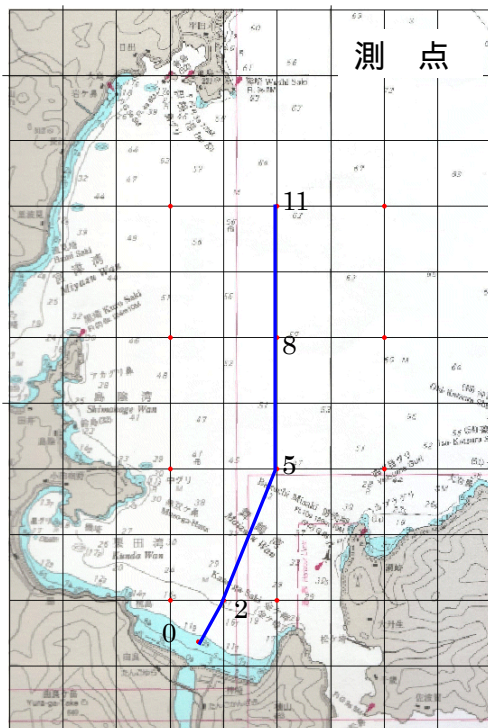




写真1 由良川河口域

3 今後の取り組み

漂流ブイ調査では風の影響をかなり受けているようなのでブイに抵抗体を取付けて調査を実施し、水温・塩分調査を今後も続けデータを集める予定です。